

1 調査名称：高松広域都市圏総合都市交通体系調査

2 調査主体：香川県

3 調査圏域：香川県全域（島嶼部除く）

4 調査期間：平成23年度～平成26年度

5 調査概要：

香川県のこれまでの都市交通計画は、人口の増加と交通容量の不足を背景として、量的な拡大をねらいとした都市交通施設の計画を中心として検討されてきた。しかしながら、平成元年度に実施した第2回調査後20年以上が経過し、この間に超高齢社会の到来、中心市街地の空洞化、線引き廃止等の社会情勢が大きく変化し、これに伴い都市構造や交通流動も大きく変化してきている。さらには、地球温暖化対策や公共投資額の削減等を背景に、政策目標に対して効率的かつ重点的な都市交通計画を提案することが求められている。

これらの状況を踏まえ、前回調査の検証・見直し作業を進め、将来の集約型都市構造の実現に向け、都市計画区域マスタープランとも整合し、都市交通を総合的に検討した都市交通計画（マスタープラン）を策定するものである。

I 調査概要

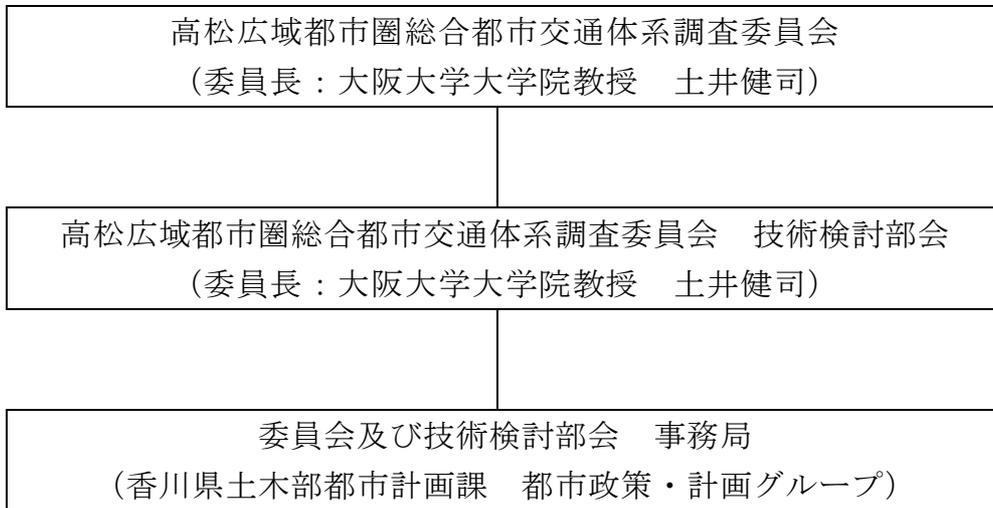
- 1 調査名：高松広域都市圏総合都市交通体系調査
- 2 報告書目次
 - 1 業務の概要
 - 1.1 業務の目的
 - 1.2 業務の概要
 - 1.3 業務の全体構成
 - 2 現況集計・特性分析
 - 2.1 現況集計
 - 2.2 情報収集
 - 2.3 計画課題に関する現況・特性分析
 - 3 課題の検討
 - 3.1 計画課題に関する現況分析結果の整理
 - 3.2 交通特性分析に基づく、考えられる将来における問題点
 - 3.3 これまでの都市構造の変化を踏まえた計画課題実現に向けた課題
 - 4 将来像の検討
 - 4.1 将来都市構造の設定
 - 4.2 将来シナリオの検討
 - 5 将来人口フレームの設定
 - 5.1 将来人口フレームの設定の目的
 - 5.2 設定する人口フレームの指標の種類
 - 5.3 計画目標年次
 - 5.4 各人口フレームに対する指標の設定方法
 - 5.5 趨勢時人口フレームの設定
 - 5.6 戦略型人口フレームの設定
 - 6 将来交通需要予測
 - 6.1 将来交通需要予測の目的・必要なアウトプット
 - 6.2 将来交通需要予測モデルの全体構成
 - 6.3 交通モデル
 - 6.4 土地利用モデル

- 7 土地利用交通モデルによる戦略案の検証
 - 7.1 施策案の将来交通需要予測モデルによる分析方法
 - 7.2 趨勢型の将来における問題点について
 - 7.3 将来交通需要予測の実施
 - 7.4 施策評価指標値の設定
 - 7.5 施策効果の把握
 - 7.6 施策効果指標による戦略型シナリオの評価
 - 7.7 評価結果および考察

- 8 委員会及び技術検討部会の運営支援
 - 8.1 委員会
 - 8.2 技術検討部会

- 9 今後の課題

3 調査体制



4 委員会名簿等：

○高松広域都市圏総合都市交通体系調査委員会

(平成26年4月時点)

| 委員の区分 | 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|-------|------------------------------|------------------|--------|
| 学識経験者 | 大阪大学大学院 | 教授 | 土井 健司 |
| | 香川大学大学院 | 教授 | 高塚 創 |
| | 香川大学工学部 | 准教授 | 紀伊 雅敦 |
| | 香川高等専門学校 | 准教授 | 宮崎 耕輔 |
| 交通事業者 | 四国旅客鉄道株式会社 | 常務取締役 総合企画本部長 | 西牧 世博 |
| | 高松琴平電気鉄道株式会社 | 専務取締役 | 川上 純一 |
| | 社団法人 香川県バス協会 | 専務理事 | 一二三 洋治 |
| | 西日本高速道路株式会社 四国支社香川高速道路事務所 | 所長 | 亀山 良成 |
| | 本州四国連絡高速道路株式会社 坂出管理センター | 所長 | 北口 雅章 |
| | 香川県旅客船協会 | 専務理事 | 長谷部 光明 |
| 経済団体 | 香川県商工会議所 女性会連合会 | 会長 | 岩崎 敬子 |
| | 香川県商工会 女性部連合会 | 会長 | 小比賀 京子 |

(委員長)

| | | | |
|---------------|---------------------------|-------|--------|
| 関係行政 機関の職員 | 国土交通省四国地方整備局 建政部 | 部長 | 丸尾 浩 |
| | 国土交通省四国地方整備局 香川河川国道事務所 | 所長 | 清川 喜博 |
| | 国土交通省四国運輸局企画観光部 | 部長 | 小幡 章博 |
| | 香川県警察本部 交通部 | 部長 | 小脇 一幸 |
| | 高松市 市民政策局 | 局長 | 城下 正寿 |
| | 高松市 都市整備局 | 局長 | 安藤 照文 |
| | 丸亀市 建設水道部 | 部長 | 谷口 信夫 |
| | 坂出市 建設経済部 | 部長 | 松井 基泰 |
| | 善通寺市 建設農林部 | 部長 | 池脇 貴司 |
| | 観音寺市 建設部 | 部長 | 片木 喜信 |
| | さぬき市 建設経済部 | 部長 | 出口 俊明 |
| | 東かがわ市 事業部 | 部長 | 松村 秀樹 |
| | 三豊市 建設経済部 | 部長 | 尾崎 清 |
| | 三木町 土木建設課 | 課長 | 十川 正澄 |
| | 宇多津町 地域整備課 | 課長 | 松井 優 |
| | 綾川町 建設課 | 課長 | 水原 孝佳 |
| | 琴平町 総務課 | 課長 | 大矢根 正高 |
| | 多度津町 建設課 | 課長 | 島田 和博 |
| まんのう町 建設土地改良課 | 課長 | 池田 勝正 | |

○高松広域都市圏総合都市交通体系調査委員会 技術検討部会

(平成 26 年 4 月時点)

| 委員の区分 | 所 属 | 役 職 | 氏 名 |
|---------------|-------------------------------------|-----|-------|
| 学識経験者 | 大阪大学大学院 | 教授 | 土井 健司 |
| | 香川大学大学院 | 教授 | 高塚 創 |
| | 香川大学工学部 | 准教授 | 紀伊 雅敦 |
| | 香川高等専門学校 | 准教授 | 宮崎 耕輔 |
| 関係行政 機関の職員 | 国土交通省 四国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課 | 課長 | 秋山 義典 |
| | 国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所 道路調査課 | 課長 | 濱田 向啓 |
| | 国土交通省 四国運輸局 企画観光部 交通企画課 | 課長 | 藤本 実紗 |

(部会長)

| | | | |
|--|---------------------------------------|----|-------|
| | 香川県警察本部 交通部 交通規制課 | 課長 | 岡田 知春 |
| | 高松市 市民政策局 コンパ クト・エコシティ推進部 交通政策課 | 課長 | 坂東 和彦 |
| | 高松市 都市整備局 都市計画課 | 課長 | 木村 重之 |
| | 香川県 政策部 交通政策課 | 課長 | 多田 仁 |
| | 香川県 土木部 道路課 | 課長 | 片山 秀樹 |
| | 香川県 土木部 都市計画課 | 課長 | 三好 正明 |

II 調査成果

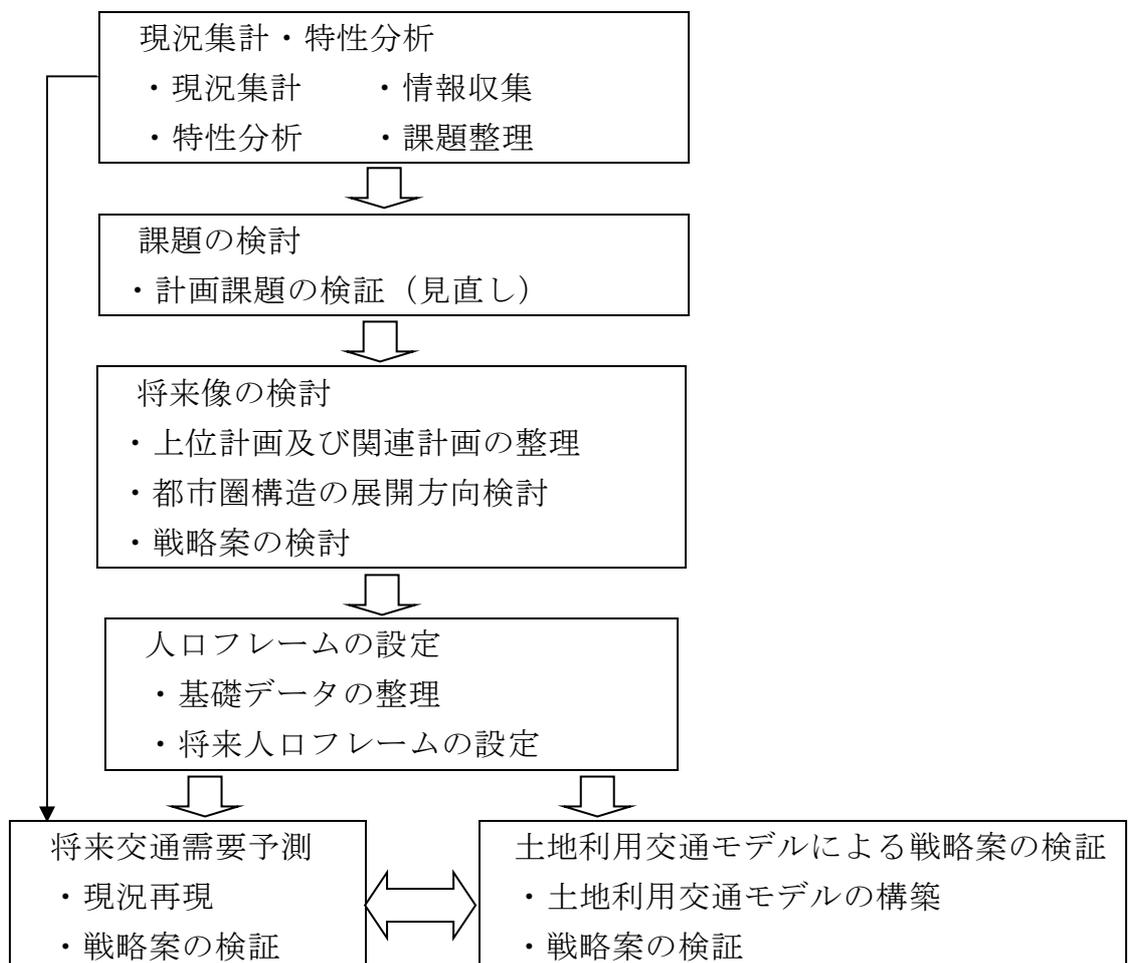
1 調査目的

高松広域都市圏では、昭和49年の第1回パーソントリップ調査（以下PT調査）以降、新都市OD調査を含め約10年間隔で調査が実施され、これに応じた社会資本整備が着実に進められてきた。一方、人口減少・高齢化時代の到来、環境問題への要請の高まり、人の価値観の変化や多様化、災害に対する備えの重要性の高まりなど、交通行動の変化を誘引する様々な事象が生じている。

本調査では、昨今のPT調査への要請を受け、今日的な課題に対応した持続可能な高松広域都市圏を支える総合都市交通マスタープランを策定することを目的とする。

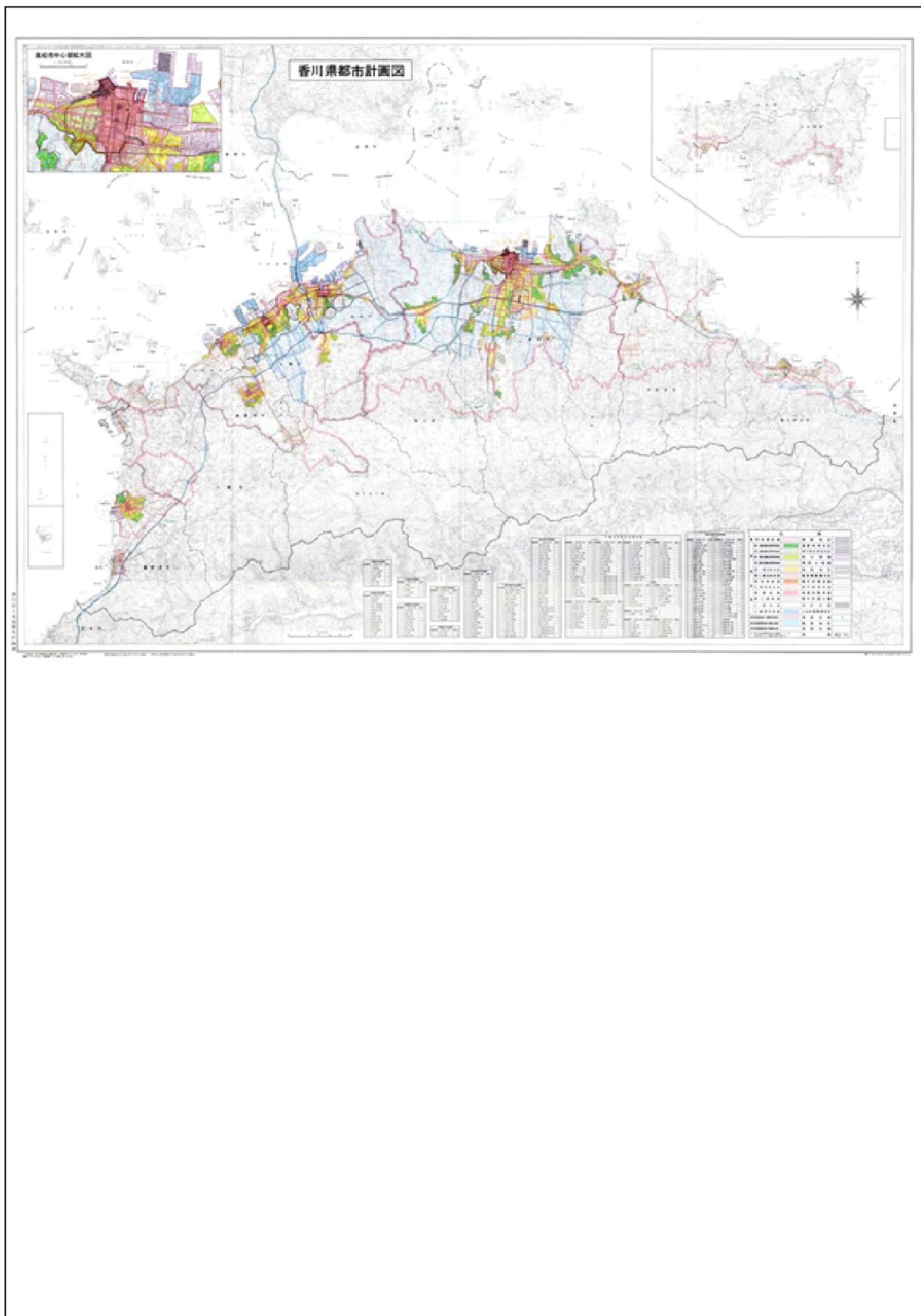
平成25年度は、前年度に実施した実態調査の結果について、交通構造変化分析等を行い、課題の検討および将来像の検討を行った後、課題に応じた戦略案（具体的施策）を提案し、将来交通需要予測を行うものである。

2 調査フロー（平成25年度業務分）



3 調査圏域図

香川県全域（島嶼部を除く）



4 調査成果

別添資料「高松広域都市圏総合都市交通体系調査業務委託[概要報告書]」参照